

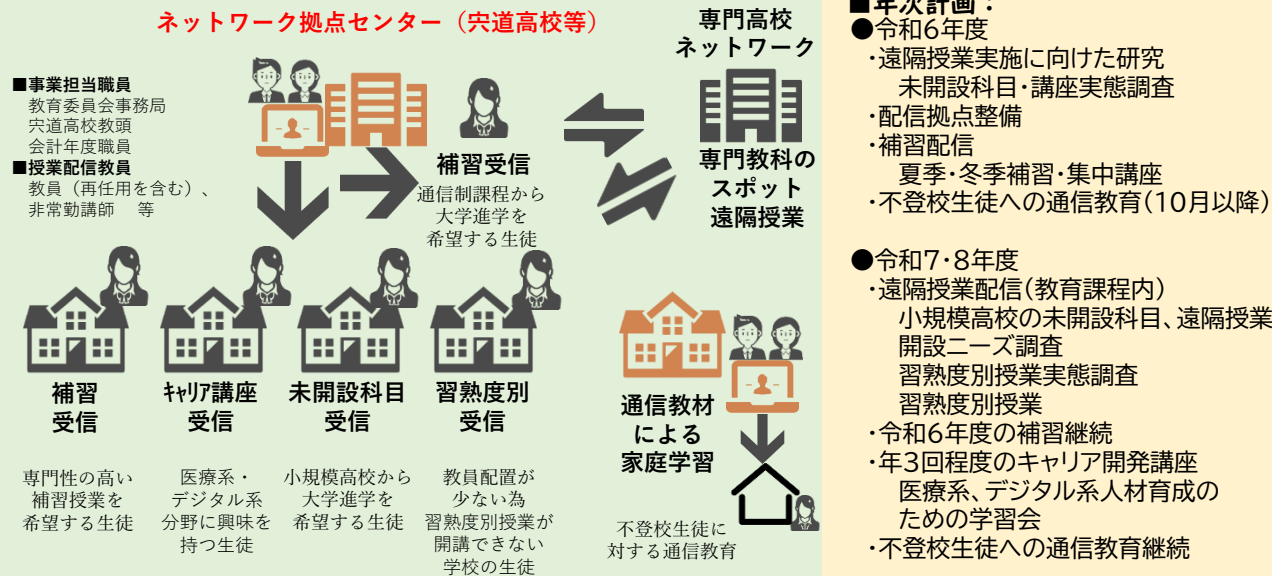
しまね学びの縁結びハイスクールネットワーク

背景・課題

○離島・中山間地域等の学校の立地、リソース等に伴う制約（教員不足・教員のアンバランスな年齢構成）により、学校が生徒の多様な学習ニーズに十分に対応しきれていない。
 ○全日制・定時制課程の高校において、学ぶ意欲はありながら心身の不調等により登校ができない生徒の数が増加しており、生徒への個別の対応が困難な状況が生まれつつある。
 →地理的状況や各学校・課程・学科の枠にとらわれず、いずれの高等学校においても生徒の多様な学習ニーズに応える柔軟で質の高い学びを実現し、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができるようにしていくことが必要

事業内容

○遠隔授業や通信による教育の方法を活用しながら、地理的状況や各学校・課程・学科の垣根を超えて、生徒の多様な学習ニーズに応える新たな高校ネットワークモデルを創出し、教育の質の向上を行う。
 ① 学校単独では開講が困難な科目・講座についての遠隔授業の実施【教科・科目充実】
 ② 学校単独では対応が困難な不登校生徒に対する通信教育の実施【学習機会保障】



■配信内容：

- ・小規模高校の未開設科目、専門性の高い教員による授業
地理歴史科、公民科、理科、情報科、専門教科 等
※ 専門教科は学校間配信を想定
- ・習熟度別授業
数学科、英語科、情報科 等
- ・教育課程外の補習、キャリア開発講座
長期休業日等における「数学」「英語」等の集中講座、年3回程度のキャリア開発講座（医療系への進学希望者を対象とした医学体験講座、情報系への進学希望者を対象としたプログラミング講座 等）等
- ・通信制教育の面接指導におけるメディアを利用した教育
地域みらい留学365（高2留学）対応のオンデマンド教材

■通信教育：

- ・不登校生徒に対する通信教育
各学校が不登校対策を行う際の添削課題等の教材の共有、面接指導等の支援

■配信授業担当者：

- R6：外部講師（補習、キャリア開発講座等）
 R7～：拠点センターの教員、非常勤講師

■検討課題

遠隔授業管理事務、配信拠点の整備、受信側サポート職員
 DXハイスクール事業（「情報Ⅱ」の新規開設）との連携
 不登校生徒の自宅に授業配信する際の事前準備、留意点等
 通信制高校での履修を全日制・定時制で単位認定する仕組み
 通信教育におけるメディアを利用した教材の開発
 普通科・専門科、全日制・通信制の垣根を超える教育の取組

■配信拠点：

R6：島根県教育センターに配信拠点設置、遠隔授業管理事務は事業本部（島根県教育委員会事務局）が担当
 R7～：宍道高校通信制課程に配信拠点設置、遠隔授業管理事務はネットワーク拠点センター（宍道高校）が担当
 （宍道高校に遠隔授業を担当する教員、非常勤講師を配置）

■ネットワーク拠点センター職員：

事業担当職員…会計年度職員

